

みんぱく ウィークエンド・サロン 研究者と話そう

■時間：14:30～15:30(予定)

■参加費：無料(ただし、常設展観覧料が必要)

開館30周年記念事業として、昨年度実施し、来館者の皆様から好評を博した「みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう」を今後も引き続き開催します。毎週日曜日(研究公演、映画会のある日及び無料観覧日を除く)、みんぱくの研究者が展示場のどこかに登場します。話題や内容は千差万別! どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしております。

実施日・話者・話題・場所

4月20日(日)

近藤 雅樹

(民族文化研究部教授)

いろんな「おかね」で世界がみえる

於:企画展「いろんな「おかね」で世界がみえる」

4月27日(日)

松山 利夫

(民族社会研究部教授)

人の骨と丸太の棺

ーオーストラリア・アボリジナルの葬送儀礼ー
於:イントロダクション展示

5月4日(日)

信田 敏宏

(研究戦略センター准教授)

マレーシア 開発と先住民

於:展示場内休憩所

※都合により、予定を変更することがあります。



オーストラリア北部に暮らすアボリジナルの丸太の棺

編集後記

四月は別れと出会いの季節、本誌においても、永年にわたって編集長、編集委員を務めてきた池谷和信、櫻永真佐夫に代わり、中牧弘允、佐々木史郎、三尾稔が加わって、新しい体制で臨むことになった。編集長はわたし、久保が努めることになったが、わたしの不手際で今号の発行が遅れることになったことを、深くお詫びしたい。また、誌面構成も一部変更があり、新しいコーナー「歳事世相篇」が登場した。これは、柳田国男の『明治大正史(世相篇)』を念頭に、世界に広く歳事を求め紹介するものであり、ご期待いただきたい。さらに、巻頭では、これまでの特集記事に加えて、民族学・文化人類学にとどまらない広い分野の方々からお話を伺う「みんぱくインタビュー」もおりにふれて掲載していく予定である。今号と次号では、その一環として、昨年度いっぱいまで行われた「開館30周年記念事業」を踏まえたインタビューを掲載している。これは、開館30年という節目を越えて、これから民博がどこに向かおうとしているのかを、読者のみなさんにお伝えしたい、という思いで組んだものである。読者のみなさんには、今後とも、民博の諸活動へのご支援をお願いする次第である。(久保正敏)

月刊



次号予告/みんぱくインタビュー
開館30周年、
そしてこれから(2)

2008年4月号 第32巻第4号通巻第367号
2008年4月10日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話06-6876-2151

発行人 西尾哲夫

編集委員 久保正敏(編集長) 佐々木史郎
庄司博史 中牧弘允 三尾 稔
山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 株式会社博報堂

製版・印刷 アサヒ精版印刷株式会社

●本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係へ
●本誌掲載記事の無断転載を禁じます

交通案内

■大阪・千里万博記念公園内

- 大阪モノレールで「公園東口駅」・「万博記念公園駅」下車徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から1時間1本程度、日本庭園前駐車場乗り入れのバスがあります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。
- 自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

